

算数オンライン塾 3月17日の問題 解説

(解説)

(1) 青玉の個数は7の倍数で白玉より8個多くなっています。また白玉は赤玉より10個多く、赤玉は6の倍数です。

赤玉が6のとき、白玉は16、青玉は24 ←7の倍数ではありません。

赤玉が12のとき、白玉は22、青玉は30、

となるので、24から6ずつ増えていった時、初めて7の倍数になる数を探せばよいことになります。

24、30、36、42より42個

(答え) 42個

(2) 最初に当てはまったのが

赤24、白34、青42です。

赤は6の倍数で青は赤より18大きいことから、7と6の最小公倍数は42なので、青は42の倍数になります。

青を【42】とすると、白は【42】-8 赤は【42】-28 合計すると

【42】×3-36ですから、【126】-36

これが400個以上ですから【1】=4が一番小さいときになるので、白は
 $4 \times 42 - 8 = 160$ 個になります。

(答え) 160個